



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



子どもの頃好きだった絵本

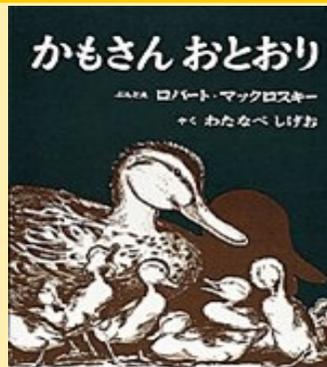
“先生にききました 2”

 小川先生

◆両親は共働きでしたが、

幼稚園以前から母がよく絵本を読んでもくれました。今でもよく覚えています。小さい子どもにとってとても大事なことです。

◆特に好きだった絵本は『かもさんおとおり』です。小学生の頃はまったのは『ちいさいおうち』と『せいめいのれきし』（共にバージニア・リー・バートン文絵/石井桃子訳/岩波書店）です。宇宙や生命の科学的な神秘や不思議、宗教的でなく中立的な視点で哲学的な世界観を示しています。人間が超えられない大きな摂理を感じました。自分の中の生命の発生や進化についての根本的な理解の基になっていて、医師としての現在の自分に通じています。



えほんの紹介

『かもさんおとおり』

マックロスキー文絵/
_わたなべしげお訳/

福音館書店

かものマラードさん夫婦はようやくポストンの川の中州に巣をつくり、8羽のひなが生まれます。マラードおくさんは、ジャックとカックとラックとマックとナックとウアックとパックとクアックの8羽の子がもをひきつれて、マラードさんの待っている安全な公園の池へ引越します。

街なかを堂々と行進するかもさん親子のために、大通りや交差点はおまわりさんも出て交通整理で大騒ぎです。

さあ、かもさん親子は無事に公園にたどりつくことができるでしょうか？

2012年2月 第3号

小さなおともだち

Y君とK君



Y君とK君は仲良し！

プレールームで今日も一緒です。

『のりもの いっぱい』（柳原良平/こぐま社）の本を読みながら、本の中の車をおもちゃ箱から探します。クレーン車、パトカー、トラック、バス、救急車と、どちらが早く見つけられるかな？

2人は夢中です。一緒にいたママがいなくとも、ちょっとだったら平気。元気いっぱい。その後はひと休み。

ブロック遊びで、のりまき、いなり寿司、枝豆を食べました。おいしかった。ごちそうさまでした。

絵本もおもちゃも大好きな2人です。